



コミュニティ・スクールだより

長松小学校運営協議会 事務局発行（文責：林田）

令和7年度 後半スタート

季節が夏から秋へと移ろいできました。実りの秋の到来です。そして、本年度の下半期最初の大きな行事「長松小運動会」を今月19日（日）に予定しています。応援よろしく願います。さて、今回は8月下旬から9月にかけての行事のいくつかを紹介します。



【8月27日 人権擁護委員様を講師に3年生人権教室】



【9月5日 5年生唐津Qサバの学習】

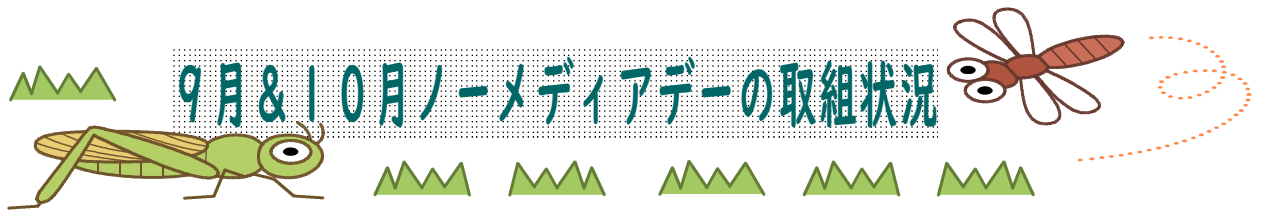


【9月11日 4年生の福祉体験学習（点字教室）】



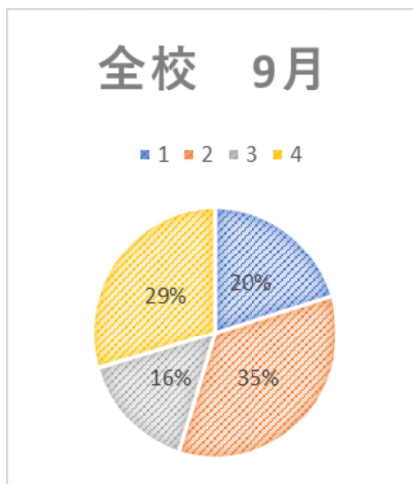
【9月22日 5年生稲刈り】

校舎の中に、子ども達の元気な声が戻ってきた夏休み明けの9月もたくさんの行事を行いました。そんな中、峯俊輔さんのご厚意で今年も5年生が稲刈り体験をしました。他の田んぼの稲よりも子ども達のために水田の管理には細心の注意を心がけられたそうで、品質も収量も例年以上の出来ばえということでした。



9月10日（水）は長松小ノーメディアデーでした。メディア依存症等による心や体、また脳の発達への悪影響などが懸念されています。

一中校区で取り組んでいるノーメディアデーは、テレビやゲーム、スマホ等の電子メディアとの向き合い方を各ご家庭で考えて、家族の団らんの時間を設定するなど、工夫して過ごしてほしいというのが趣旨です。



左の円グラフは、テレビ・ゲーム・YouTube等の電子メディアを利用した時間を時計まわりで

- 「0分」 → 20%
 - 「30分未満」 → 35%
 - 「約1時間」 → 16%
 - 「1時間以上」 → 29%
- と表しています。

上の円グラフは、各教室で児童に尋ねてみた結果を、全校で集約した当日の電子メディア利用時間の結果を示したグラフです。児童の5人に一人が電子メディアの利用がゼロでした。その反面、約3割の児童は1時間を超えて、テレビやゲーム等をしたという結果です。

そこで、先週10月1日（水）に行った一中校区全体のノーメディアデーについて、ご家庭でどのようにその日を過ごされたのかを含めて、感想のいくつかを紹介します。

〈保護者の感想より〉～たくさんの感想をお寄せいただき、ありがとうございました～

◆普段はスマホやテレビをよくみていて、「見過ぎだよ。」とか「違う遊びをしたら？」と声かけをするのですが、聞く耳を持たず、対応に困っていました。しかし、昨日のノーメディアデーは本人が自分からメディアを避けていました。会話が増えて嬉しく思った1日でした。

◆ゲームを我慢できるのか心配していましたが、兄弟で励まし合いながら、四並べ、パズル、プロレス、ランニング、ロボット対決をして乗りきりました。メディアを見ないと、とても静かで日頃からメディアの見過ぎだということに改めて気づかされました。これからは少しずつメディア利用の時間を減らして、親子の時間を増やしていけたらと思います。

◆このお便りを10月2日の朝見ました。家にいるとずうっとYouTube。あまり勉強はしません。テレビがやめられません。本も読まないし、それが国語の文章理解、算数の問題の意味の理解に通じているとハッキリ分かります。今できることを先のためにつなげてほしいと思う両親です。塾に行った方がいいのかな…。

◆前日から「ノーメディアデー」を意識して、朝一番にテレビをつけることなく、朝の準備がいつもより早く終わりました。帰ってきてからも宿題をすぐに済ませ、空いた時間で図書館にも行き本を読んだり、音楽を聴いたり、運動会のダンスの練習をしたりといつも以上に充実した時間を過ごせました。また、いつものテレビを消すときのやりとりもなく親としてありがたかったです。

